

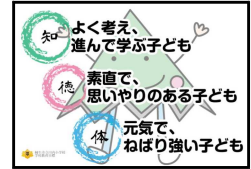


川内小学校だより

ゆずり葉

第9号

令和元年9月26日
桐生市立川内小学校発行



子どもたちの成長が感じられた運動会！ 保護者の皆様には大変お世話になりました。

運動会には、多くの保護者・ご家族、ご来賓・地域の皆様方にご来校いただき有難うございました。当日は、開会式が間もなく終了するという頃、少しパラパラ落ちてきましたが、「最後まで、何とか…」との願いが通じ、全てプログラムの通りに進行することができ、子どもたちの生き生きとした演技や競技を見ることができました。子どもたちの姿を見て正直に思ったことは、「川内の子どもたちは本番に強い」というものでした。練習時においては、少し心配な面や物足りなさを感じることもありましたが、根が素直な子どもたちなので、練習を繰り返す過程において確実に身に付け、伸ばし、自分や集団としての力を高めている様子が見て取れました。「果たして運動会の当日においてはどうか…」との思いで見えていましたが、どの学年の演技や競技も十分に見ごたえのあるものでした。わずか1か月に満たない練習期間でしたが、大いに評価してよいと考えています。こうした成果の裏側には、各学年・ブロックの教職員が日頃の練習から、きめ細かに子どもたちを見て、場面場面での確かな声掛けや励ましを送っていたことについて申し添えます。いずれにしても、納得できる充実した運動会となったことを大変嬉しく思います。



↑

ゴールテープを切るまで全力疾走です。どの学年の徒競走も競り合う場面が多く、手に汗握りました。でもその一方で、ある程度の差が開き逆転が難しいという場面でも、決して力を抜かずに最後まで全力で走りぬく子どもたちの姿がとても印象に残りました。



閉会式の講評でもふれさせていただきましたが、この運動会では、演技や競技の裏方として活躍していた高学年の動きもなかなかのものでした。それぞれが自らの役割に自覚と責任感 ⇒ をもち、しっかり果たそうという姿勢が感じられ、こうした点からも子どもたちの成長を感じ取ることができました。





(左上) 元気いっぱいの「デリシャス玉入れ」、この途中に表現されていた踊りが大変好評でした。
(右上) 中学年の「スタートダッシュ～令和の未来へ～」では息の合った動きが実に見事でしたね。



(左上) 「棒取り合戦」は素早さと力強さ。引きずられても棒を離さない粘りを見ることができました。
(右上) 「綱引き」は息を合わせることが大切。団の仲間と大きな声を掛け合って力強く引きました。



(左上) さすがは高学年、迫力ある力強い「川内ソーラン」。引き締まった表情で、真剣に演じました。
(右上) 令和最初の運動会の優勝トロフィーは「なるかみ団」に渡りました。(どの団も頑張りました。)

今年のスローガン「進め優勝への一歩 見せつけろ 仲間との絆」のもと、全員で運動会に向けて準備や練習に励んできました。「絆」については同学年、同じ団はもとより、川内小全員が「大きな絆」で結びつくことを目指しました。これ以降の行事でもこうした思いを大切に歩んでいきたいと思えます。